

**互いの学びの質を高め合う協同性を育てるための支援の在り方**  
～個性を生かした異年齢とのかかわりの視点から～

## 第2学年 生活科学習指導案

### 1. 単元 「わくわく たんけん はっ見たい～3年生に学ぼう！わくわく名人～」

### 2. 指導観

#### 【こんな子どもだから】

##### 【2年生】

- 本学級は，動植物に関心を向けている子どもが多く，2年生「生きもの大すき」の学習において，ヤゴやダンゴムシ，ミノムシなど，身近な虫に興味をもち，親しみながら観察することができた。また，1年生「とびだせ たんけんたい」の学習において，学校探検を繰り返し行い，発見していく中で，学校の施設や学校生活を支えている人々について気付き，探検することの楽しさを経験してきている。1年生「なかよしいっぱい大きくせん」では，現3年生に招待され，一緒にシャボン玉で遊ぶ経験をしてきた。上の学年に，教えてもらいながら，大きなシャボン玉を作ったり，たくさんのシャボン玉を一度に作ったり，複数で一つのシャボン玉を膨らませたりして，他学年と一緒に遊ぶ楽しさ，教えてもらう喜び，工夫して作り出す達成感を味わってきた。

日常生活の中で，異年齢とのかかわりをもっている子どもは，限られている。休み時間にドッジボールで一緒に遊んでいる子が数名，地域の友達として，一緒に登校している子が数名である。放課後の遊びにおいても同様で，同じ学年の子ども達と遊ぶことが多い。本学級の3分の1の子どもは，留守家庭に在籍している。竹馬やケンパタ，野球など，3年生が遊んでいるのを眺めながら覚えたり，一緒に遊んだりしている子どもたちもいる。その数は多いとはいえない。しかし，3年生がリーダーとしてまとめたり，いろいろなことを教えてくれたりすることから，3年生の姿は目標にもなっている。また，校区が広範囲のため遊ぶ範囲が限られ，近所の友達や兄弟と少人数で遊んでいることが多い。そのため，自分の住んでいる地域以外の場所や校区の昔からの行事に対し，関心が薄く，進んでかかわったり，地域のもつ様々なよさに気付いたりするまでにはいたっていない。

- 課題に対して，子どもが個々に意欲をもって取り組むことができる。しかし，友達と喜びを分かち合ったり，自分の気付きを友達と積極的に交流する姿はあまり見ることができない。3年生と一緒に探検することで，活動の中から学んだり，刺激を受けたりすることができる。個々の意欲が3年生という存在によってつながりをもつことができると考えた。そこで，3年生と共に活動する場や交流の場を設定することで，気付きをよりの確にし，高めることができると考える。

##### 【3年生】

- 朝から，異学年と元気よく外で遊んでいる子どもが多い。2年生の頃から上級生と一緒に遊ぶことが多く，ドッジボールでボールの投げ方やルールなど一緒に遊びながら覚えることができていた。下の学年とのかかわりは，多くはない。しかし，自分達が，低学年の頃から上級生とかかわって遊んできたことから，異学年とのかかわりをもつことに抵抗をもつ子どもは少ない。
- 課題に対し，自分達で疑問をもち，意欲をもって取り組んでいる。友達同志で声をかけあい，探検に出かけたり，インタビューをしたりする力を身につけている子どもたちが育ってきている。しかし，友達を頼りにしている子どもたちも多い。そこで，低学年と出合わせ，かかわりをもたせて行動し，下級生から賞賛されたり，頼りにされたりすることで，自分に自信をもって，行動することができると思う。

#### 【こんな教材で】

##### 【2年生】

- 自分たちの住んでいる校区を探検し，これまで，気付かなかった地域の様子や支えてくれている人たちに気付くことができる。
- めあてをもち，繰り返し探検活動を行うことで，地域を支えてくれている人に出会ったり，違いに気付いたり，新しい発見をしたりして，地域のよさに気付くことができる。

- 校区を探検することで、学びが共有でき、自発的な活動を行いやすく、友達との交流をもつことができる。
- 探検を通して出会うさまざまな人とかかわることで、地域に親しみ楽しく生活していこうという意欲をもつことができる教材である。

**【3年生】**

- 総合「地域の名人にチャレンジ」の学習を生かし、自分が調べたり、体験したことを分かりやすく伝え、2年生に教えることで、自分の学びに自信をもつことができる。
- 名人から学んだこと、体験したことを教えることで、名人の気持ちを確認することができる。

**【こんな子どもに】**

**【2年生】**

- 校区の自然や人々・施設に関心をもち、進んで探検したり、新たなものを発見したりして、地域の人々とかわりに喜びを味わうことができる子ども
- 五感を通して探検の楽しさを知り、活動を通しての気づきを自分なりの方法で表現したり、伝えたりすることができる子ども
- 探検活動を通して、自分たちの生活は地域と密接にかかわっていることに気づき、地域の人々やさまざまな場所に親しみをもち、これからも進んでかかわろうとする子ども
- 交流した3年生と、これからの学校生活でもかかわりを広げていくことができる子ども

**【3年生】**

- 今まで学習したことを生かしながら、2年生に分かりやすく教えたり、一緒に楽しく行動したりできる子ども
- 名人のよさを再確認し、校区の人々により愛着をもつ子ども

**【こんな方法で】**

- ① 互いが認め合い、高まっていくような協同性を育てる活動づくり
  - 意識が連続する課題設定の工夫
    - ・ 何度もかかわることができる身近な対象を探検場所を選ぶことで、自分たちで「つながり」を見付け、新たな活動を起こしていくことができるようにする。
    - ・ 共通体験を通しての活動であるが、一人ひとりの気づきを丁寧に見取り、個別に支援を行うことで、次の活動への「つながり」をもつことができるようにする。
    - ・ 学びがつながるような言葉かけを行う。
  - 関係を生み出すグループ構成の在り方
    - ・ 子どもの興味や関心に合わせて、少人数の同質グループを構成し、学び合いが生まれやすいような場の設定をする。
- ② 個性を生かした異年齢とのかかわらせ方
  - 異年齢とどこでどのようにかかわらせるか学習過程の工夫
    - ・ 探検場所に昨年度と同じ場所をいくつか選ぶことで、探検場所の価値を理解している3年生にさぐる段階で探検オリエンテーションをしてもらう。このことで、その場所に興味や探検への意欲、目的をもつことができるようにする。
    - ・ 探検のまとめの過程で、「ひと」について学んだ3年生にお知らせをしてもらうことで、地域の人々に興味や関心をもつことができるようにする。
- ③ 学びの質をとらえる方法
  - 子どもの言葉・活動・ふり返しカードなどからの見取り
    - ・ 活動中の子どものつぶやきやふりかえりカードの子どもの言葉を整理し、子どもの学びの姿をグループと個別に、記録する。

**3. 単元の目標**

- 自分たちの生活は、地域の様々な人や場所とかかわりをもっていることに気付くことができる。
- 五感を通して、発見したり感じたりしたことを自分なりの方法で表現することができる。
- 地域の人々や様々な場所や自然に親しみをもってかかわることができる。

**4. 指導計画(全21時間)**

段階	学習活動と内容	教師の支援	期待できる姿・表現
つ か む 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭から学校までの通学路の地図を描き、自分だけの秘密や大好きなところを紹介する。(2)</li> <li>○ 探検の計画を立てる。(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもが思いを広げることができるように A 3サイズの紙を準備する。</li> <li>○ 気づきが交流できるように、クラス単</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月にはつばめの赤ちゃんがいたんだ。</li> <li>・ 僕の近くの神社には土俵があるよ。この土俵で毎年、秋に相撲があるんだよ。ぼくも参加</li> </ul>

		位での探検計画を立てる。	するよ。 【行動・発言・記録分析】
さ ぐ る 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級探検パート1をする。(3) 「近くの公園」 ・「近くの公園」のことをオリエンテーションを行い、3年生に質問をする。</li> <li>・3年生と自然や人とかかわる。</li> <li>・たんけんカードをかく。</li> <li>○ 学級探検パート2をする。(4) 「近くの公園」 ・探検の準備をする。</li> <li>・施設、自然、人と関わる。</li> <li>・たんけんカードをかく。</li> <li>○ 学級探検パート3をする。(5) ・探検したことを絵や文で表現し発表し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3年生から、公園探検のオリエンテーションを行わせることで、興味や意欲をもたせる。</li> <li>○ 探検の目的ごとに3年生と合同の同質グループを構成し、目的をもって探検できるようにする。</li> <li>○ 五感を通して、気付きが生まれるようなふりかえりカードを作成する。</li> <li>○ 気付きが視覚的にも実感できるように、気付いたこと、発見したこと、聞いたことを色別に分け、メモの掲示をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とっても、広い公園だよ。</li> <li>・どこにあるの？(2年)</li> <li>・見たことのない花があるんだよ。</li> <li>・どんな花？(2年)</li> <li>・草がいっぱい、草のベッドみたいだった。</li> <li>・階段がいっぱいあったよ。何があるのかな。</li> <li>・とっても広がったよ。何があるか、よく分からなかったよ。</li> <li>・名前の分からない花や草が、たくさんあったよ。</li> <li>・この草の中に入ってみようよ。バッタが飛び出すよ。</li> </ul> 【行動・発言・記録分析】
ふ り か え る 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 探検をふり返り、地域のよさや気付いたことの交流をする。</li> <li>・手作り校区マップづくり</li> <li>・ワークショップ</li> <li>・3年生に地域の名人について学ぶ。 (本時)</li> <li>○ 「わたしの校区」について作文を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気付きの交流ができるように、地域ごとにグループの構成をする。</li> <li>○ 学習後、自分たちで関わることができるよう、地域の人を意識した支援を行う。</li> <li>○ 校区のよさが伝わるような内容になるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たんけんに行って、ドキドキしたよ。○○さんとなかよしになったよ。</li> <li>・教えてもらった○○さんってどこに住んでいるんだろう。</li> </ul> 【行動・発言・記録分析】

○ **本時**

平成19年 12月 7日(金)

多目的ルーム他

○ **本時の目標**

【2年生】 3年生から、名人のことを楽しみながら学ぼうとしている。

【3年生】 2年生に、名人から学んだことを自信をもって伝えることで、自分の成長に気付くことができる。

**7. 本時指導の考え方**

子どもたちは、これまでの探検活動で地域の場所については、こだわりをもって活動し、親しみをもつことができている。校区の中での行動範囲が広がり、新しい発見や気付きを友達と交流する姿も見られるようになった。しかし、地域の人にはまだ、目を向けるまでにはいたっていない。そこで、総合の時間に「地域の名人」に学んだ3年生と出合わせることで、地域の人に対してかかわりや興味や関心をもつ足がかりにしていきたい。

本時は、自分が学びたい名人のワザごとに3年生と少人数グループを構成し、体験しながら名人のことを学んでいく時間である。少人数のグループを作ることで交流が生まれやすいようにする。2年生は3年生に学ぶことで、地域の人に目を向けることができる。3年生は2年生に教えることで、学びが深まったり、今まで気づけなかった名人の気持ちなどに気づいたりすることができると考えられる。教師も2年生と同じ立場で活動し、感動や気付きを共有できるようにする。2年生と3年生の活動のめあてを補助簿に整理し、賞賛したり、方向付けをしたり声かけをしたりして、気付きが深まり広がるようにしていきたい。

## 8. 準備

【子ども】 児童が必要だと思ったもの。(例 ねんどぼん, つちねんど, 習字道具など)

【教師】 なかよしマット, 記録用紙。

## 9. 本時の展開

学 習 内 容	指導上の留意点
<p>1. 本時のめあてをつかむ。</p> <p>【めあて】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">「名人のワザ」を3年生に学ぼう。</div> <p>2. グループごとに移動し, 活動する。</p> <p>3. 発見や感動を伝えながら活動を繰り返す。</p> <p>【2年生】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>どうやったら, まっすぐ立つことができるの。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>〇〇さんが話していたけれど、体を前に倒すと足が前に出て歩けるよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>ひもがすぐゆるんでしまうよ。どうしたらきゅっと巻けるのかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>こまは, ひもの巻き方がポイントなんだよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>どんな葉っぱを選んだらいいのかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>地域に落ちていたはっぱを使って作るんだよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>どうやったら, ひびく音が出せるのかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>おなかに力を入れて, バチをしっかりとぎったらいいよ。</p> </div> <p>4. 今日の学習をふりかえる。</p>	<p>○ 目的を把握し, 3年生と一緒に少人数の同質グループを作っておく。</p> <p>○ 活動のめあてをはっきりともたせておく。</p> <p>○ 3年生が学んだことを実際に参加しながら学習できるように, 体験できるような課題や場所を設定する。</p> <p>○ 疑問に思ったことや感じたことを伝え合いやすいように1対1又は, 1対2のペアをグループの中で構成しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※ 目的を持って行動することができる。</p> <p style="text-align: center;">【行動・発言・記録分析】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※ 自分の考えを友達に知らせたり, 考えを聞くことができる。</p> <p style="text-align: center;">【行動・発言・記録分析】</p> </div> <p>○ 子どもの行動・発言を観察し, 個に応じた言葉かけをしながら, 教師も学びが共有できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※ 今日の学習をふり返り, 探検活動を続けていきたいという意欲をもつことができる。</p> <p style="text-align: center;">【行動・発言・記録分析】</p> </div>